

株主メモ	
事業年度	2月1日から翌年1月31日まで
定時株主総会	毎年4月
基準日	1月31日
剰余金の配当の基準日	1月31日、7月31日(中間配当を行う場合)
1単元の株式数	100株
株主名簿管理人 同事務取扱場所	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 TEL 0120-094-7777(通話料無料)
公告掲載方法	電子公告によりホームページ(https://www.artner.co.jp/) に掲載いたします。ただし、事故、その他やむを得ない 事由によって電子公告をすることができない場合は、 日本経済新聞に掲載いたします。

(ご注意)

- 1.株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座
管理機関(証券会社等)で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問い合
わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 2.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

『IRメール配信』サービス

Eメールアドレスをご登録いただいた方に「投資家情報」の更新、
決算、ニュースリリース、その他重要事項の最新情報を、Eメールに
て配信いたします(無料)。

下記URLまたはQRコードからWebサイトにアクセスしてご登録ください。

<https://www.artner.co.jp/ir/other/mail/>



↑QRコードから
アクセス

当社のIR活動が表彰を受けました!

日興アイ・アール株式会社

2020年度全上場企業
ホームページ充実度ランキング



- 総合ランキング「最優秀サイト」
- 業種別ランキング「優秀サイト」

ゴメス・コンサルティング株式会社

Gomez IRサイト
ランキング2020

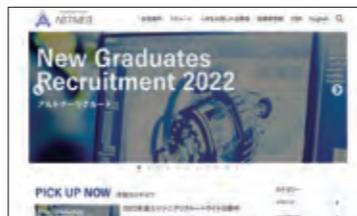


- 総合ランキング「優秀企業」銀賞(79位)
- 業種別ランキング(サービス業7位)

Webサイト/投資家情報のご紹介

<https://www.artner.co.jp/>

アルトナー 検索



▲トップページ



▲投資家情報(トップページ)▶投資家情報

エンジニアインタビュー等
動画ならではの当社情報を配信中!



▲<https://www.youtube.com/>より

アルトナー公式 検索

UD FONT

森の町内会
問伐に寄与する紙
www.mori-cho.org



株式会社アルトナー

東京本社 〒222-0033 横浜市港北区新横浜2-5-5 住友不動産新横浜ビル5F
大阪本社 〒530-0005 大阪市北区中之島3-2-18 住友中之島ビル2F

60 | 2QIR

株式会社アルトナー

証券コード: 2163

第60期 IRレポート【中間】

2021年2月1日~2021年7月31日

特集:次世代エネルギー・
半導体関連で働くエンジニア

Make Value!



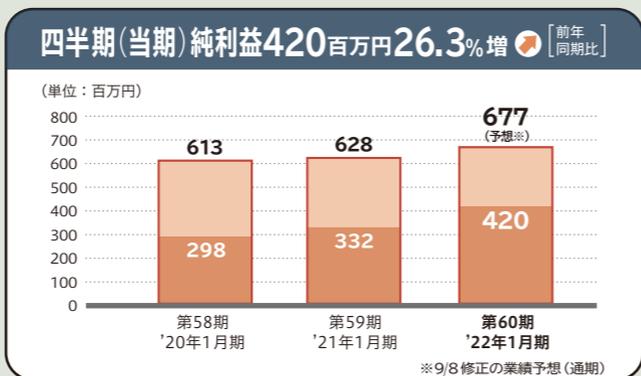
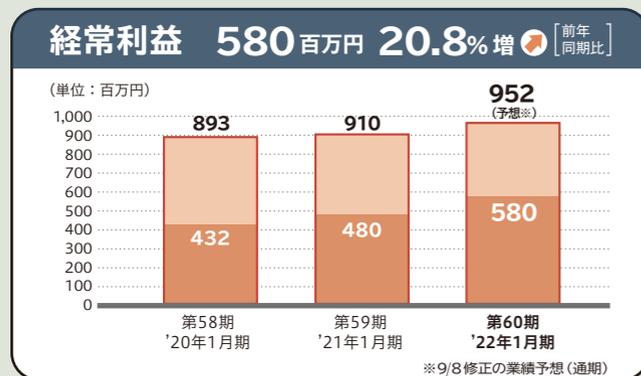
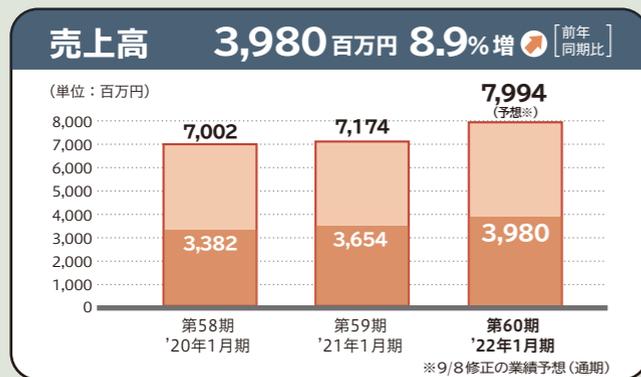
Engineer Support Company



※本文及び図表中の金額は、百万円未満を切り捨てているため、内訳の計と合計が一致しない場合があります。
また、構成比(%)は、小数点第二位で四捨五入しているため、内訳の比率の合計が100.0%にならない場合があります。

第60期 第2四半期 業績ハイライト

■ 通期 ■ 第2四半期累計期間



ROE(自己資本当期純利益率)他 経営指標に関する詳細は ▶アルトナーサイトTOP ▶投資家情報 ▶業績・財務情報 ▶主な経営指標を参照

第60期 第2四半期 分野別売上高*



配当金推移



コロナ禍の事業環境下で、
着実に成長に向けた取り組みを
継続して推進してまいります。

第60期(2022年1月期)第2四半期累計期間の業績、
第60期(2022年1月期)業績予想(通期)の進捗、
中期経営計画(2021年1月期~2023年1月期)の
基本施策の進捗についてご説明させていただきます。

代表取締役社長

関口 相三

第60期(2022年1月期)第2四半期累計期間の市場環境

依然コロナ禍による厳しい状況下にあるものの、
自動車/半導体関連の技術者要請が顕著。

新型コロナウイルス感染症の影響により依然として厳しい状況下にあります。自動車業界においては、CASEや政府の「脱炭素」方針に対応するための電気自動車(EV)、燃料電池自動車(FCV)の研究開発が顕著でした。また、半導体業界においては、自動車の電動化、IoT、テレワーク等で使用する電子機器類に必要な半導体及び、半導体製造装置の設計開発が活発でした。こうした先行開発投資を進める動きに伴う技術者の要請がございました。

第60期(2022年1月期)第2四半期累計期間の業績概要

稼働人員、技術者単価、労働工数の総合的な増加。
第59期の新卒・キャリア技術者の未配属者、
第60期の新卒技術者の配属が進捗。

顧客企業の先行開発投資を進める動きに伴い、技術者の稼働人員が増加し、技術者単価は前年対比で微増となりました。一部、在宅勤務はありますが、労働工数は時間内、時間外ともに増加いたしました。これらの総合的な増加により売上高は増収となりました。利益面では、売上高の増収に加え、テレワーク等を含めた販売管理費の削減効果が功を奏して、営業利益も増益となりました。

第60期は、第59期の新卒・キャリア技術者の未配属者の



配属を完結させること、並びに第60期の新卒技術者の早期配属、この2つを重要テーマとしてスタートいたしました。第59期の新卒・キャリア技術者の未配属者については、上期で配属完了の計画でしたが、一部、下期に後ろ倒しとなる見込みです。第60期の新卒技術者については、年初に第4四半期での配属計画を組んでおりましたが、約1割程度が上期に計画より前倒しで配属が進捗いたしました。さらに前倒しで進捗させていきたいと考えております。

これらを踏まえ、売上高は3,980百万円(前年同期比8.9%増)、営業利益は566百万円(前年同期比19.2%増)、経常利益は580百万円(前年同期比20.8%増)、四半期純利益は420百万円(前年同期比26.3%増)となりました。

第60期(2022年1月期)業績予想(通期)の進捗

通期において、売上高、利益ともに、当初予想を上回る見込みとなり、業績予想を減益から増益に転換。

コロナ禍の状況が年間を通じて継続すると想定されますが、第2四半期の売上高は、当初予想に対して、売上構成要素である稼働人員、技術者単価、労働工数それぞれが順調に推移し、これらの総合的な増加により増収となりました。また、利益面では、売上高の増収に加え、当初予想に対して、テレワーク等を含めた販売管理費の削減効果により増益となりました。

このような第2四半期の業績の状況と併せて、第60期の重要テーマである「第59期の新卒・キャリア技術者の未配属者の配属」「第60期の新卒技術者の早期配属」が年初の計画と同等レベル以上で推移した場合、通期の売上高、利益ともに、2021年3月15日に公表した当初予想を上回り、減益から増益に転換する見込みです。

これらを踏まえ、第60期の通期業績の見通しについて、売上高は7,994百万円(前期比11.4%増)、営業利益は930百万円(前期比4.9%増)、経常利益は952百万円(前期比4.6%増)、当期純利益は677百万円(前期比7.8%増)に修正いたしました。

※コロナ禍の収束時期、顧客企業からの技術者要請の状況により、業績予想の前提が変わってまいります。今後、修正の必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。

中期経営計画(2021年1月期~2023年1月期)の基本施策の進捗

多種多様な人材活用を推進し、請負・受託事業の拡充を進める。200人規模の新卒採用を目指し、技術者数1,300人達成に向けて邁進。

基本施策「セグメント戦略の推進」に基づき、マーケットをセグメント化して管理しており、全体的にコロナ禍の影響を受けたというよりも、影響を受けた領域と、受けなかった領域があります。これらの有事における結果分析を踏まえて、今後さらなる改善を図ってまいります。また、「多種多様な人材活用の推進」に基づき、請負・受託事業にて、シニア・女性・外国人労働者(留学生)を積極的に登用し、事業の拡充を進めております。

顧客企業のニーズに合致した人材の採用と提案を行うことが私どもの使命です。慢性的なエンジニア不足は継続すると想定されますので、引き続き、200人規模の新卒採用を目指し、中期経営計画の重要指標である技術者数1,300人達成に向けて邁進してまいります。

(P6「中期経営計画の進捗」参照)

株主・投資家の皆様へ

企業体質のさらなる強化を図りつつ、一層の成長と安定配当を約束できる企業へ。

株主・投資家の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

主要顧客においては、自動車関連「脱炭素」が中心テーマとなり、開発テーマが、ガソリン車から、電気自動車と燃料電池自動車に大きくシフトしていきます。これに半導体関連が加わり、その動きを予見し、顧客企業のニーズを先行的に取り

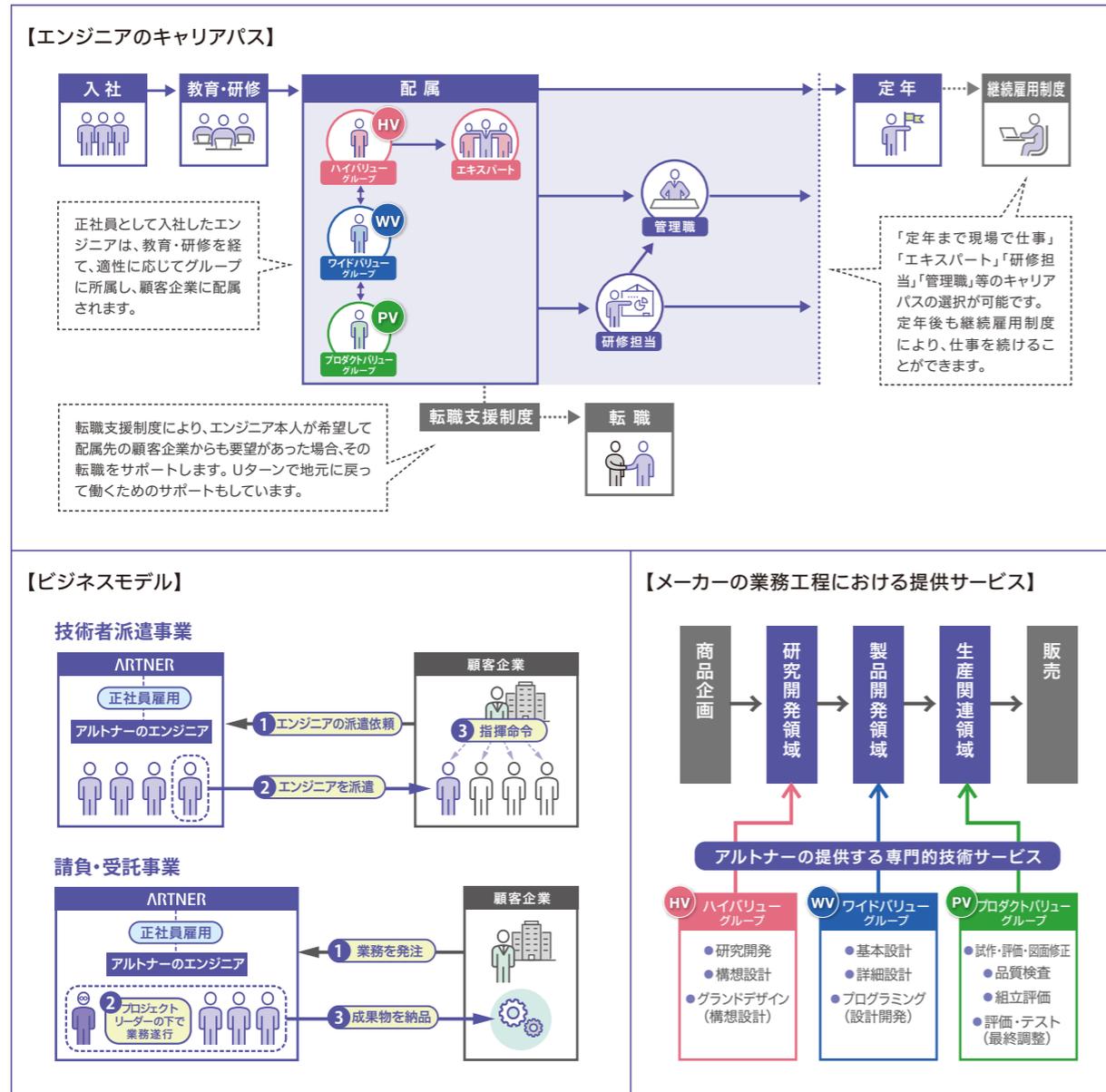


込み、提案・対応を繰り返し行っていくことが重要だと考えます。(P7・8「特集:次世代エネルギー・半導体関連で働くエンジニア」参照)

コロナ禍で、先行きが見通しづらい事業環境下においても、当社は前年同期比で増収・増益で推移しております。これは私どもの収益基盤が強靱で、有事下の負の要因を吸収できる対応力をここ数年間で蓄えられたことの証しです。さらなる企業体質の強化を図ることで成長基盤を一層安定させ、皆様からのご期待にお応えしていく所存です。第60期の中間配当は、当初の予想より2.5円増配し、14.0円となりました。期末配当は14.0円を予定し、年間配当金は28.0円を予定しております。今後とも、皆様の継続的なご理解とご支援、ご協力を賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

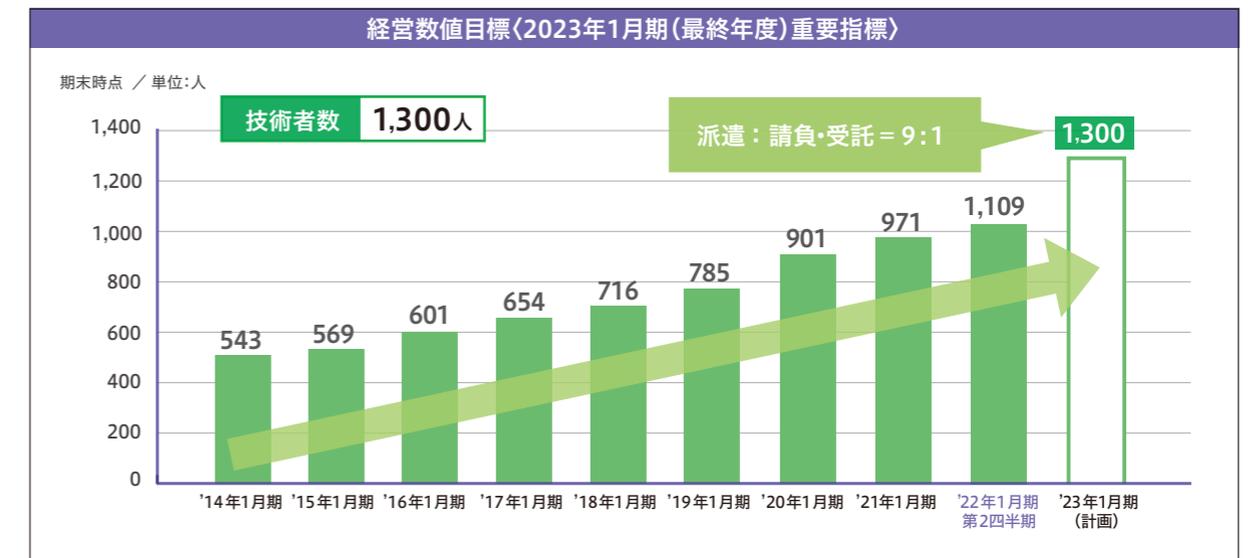
キャリアパス & ビジネスモデル

技術開発の強力なパートナーとして、多様なニーズにお応えいたします。



中期経営計画の進捗

(2021年1月期 ▶ 2023年1月期)



特集

次世代エネルギー・半導体関連で働くエンジニア

政府は「2050年脱炭素社会の実現を目指す」ことを宣言し、併せて「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略[※](P8参照)」を策定しました。この戦略の中では、今後産業として高い成長が期待され、なおかつ温室効果ガスの排出を削減する観点からも取り組みが不可欠と考えられる14の重要分野が策定されています。今回はこの重要分野にも含まれ、開発が急がれることから活況を呈している、次世代エネルギー・半導体関連で働くエンジニアに話を聞きました。



(役職・業務内容等は取材時のものとなります。)

次世代エネルギー関連で働くエンジニア #01



自動車の電動化が今後さらに進んでいくと日々の業務の中で実感しています。

ハイバリューグループ
N.T.
学生時代の専攻分野
大学院自然科学研究科 数理物理学専攻
所属分野 制御ソフト
2017年新卒入社 20代

配属先の業務

自動車メーカーでEV(電動自動車)化に関するシミュレーションを行っています。日本では2050年までに脱炭素社会を目指す世の中の流れがある中、EV化はさらに進んでいくと感じています。

業務のやりがい

シミュレーションを実際に回した結果が妥当かどうか手動で計算して検証すること、それにより、バグなどを発見することにやりがいと楽しさを感じています。顧客企業の方から「ここに来てくれて良かった」と評価された際は嬉しくて、今後も期待に応えたいという気持ちがモチベーションにつながっています。

今後の目標

課題の解決策を多くの選択肢の中から選べるエンジニアを目指しているので、将来は他分野にも携わり、様々な業界の幅広い知識を得たいと思います。また、資格を取得する過程で様々な知識を学べるため、IT系の国家資格(情報処理技術者試験)取得にもチャレンジしています。

次世代エネルギー関連で働くエンジニア #02



携わっている次世代エネルギーシステムが世の中に出ていくことに喜びを感じます。

請負・受託グループ
K.K.
学生時代の専攻分野
工学部 電気電子工学科
所属分野 電気・電子
2020年新卒入社 20代

配属先の業務

自動車に関する次世代エネルギーシステムを開発するプロジェクトに携わっています。現在は、製品の市場への早急な供給が望まれ、それに対応すべく取り組んでいます。

業務のやりがい

製品には多くのテクノロジーが詰まっています。それが何のために作られたのかを知ること、作るプロセスに携わること楽しさを感じます。次世代エネルギーシステムの一連の開発は時間が掛かる長期的なプロジェクトですが、テストを繰り返し、システムの性能が向上し、世の中に製品が出ることに、一歩ずつ近づいていくことがやりがいにつながっています。

今後の目標

スキルアップをして、より上流工程の業務に携わりたいと思います。医療、輸送機器、エネルギーなど幅広い分野で設計開発を行いたいです。そのために、自身が学んできた電気・電子分野だけでなく、機械、ソフトウェア分野の知識も深めたいです。

半導体関連で働くエンジニア #01



最先端分野の新技术に前向きに取り組む仲間の姿は良い意味でプレッシャーです。

ワイドバリューグループ
N.K.
学生時代の専攻分野
大学院工学研究科 生産システム工学系専攻
所属分野 機械
2016年新卒入社 30代

配属先の業務

半導体製造装置の先行開発に携わっています。半導体製造装置は色々な装置の集合体として構成されていて、チームで課題やアイデアを共有しながら開発を行い、他の装置との整合性を取りながら進めていきます。

業務のやりがい

業務は、3D CADで行う機械設計がメインですが、電気的な知識が必要になる時もあります。その場合は業務の中での情報共有はもちろん、自分でネットで学習したり、大学で学んだ電気や磁気、超伝導のことを復習しています。このように様々な知識を得ながら設計を行い、それが実際のカタチになった時に、一番のやりがいを感じています。

今後の目標

今は半導体製造装置関連のプロジェクトに属していますが、過去に異なる分野で積み上げてきたスキルや知識を利用して、将来も様々な分野、業務を担当してみたいと考えています。

新しい時代に向けた挑戦を応援するために策定された
「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」とは？
14の重要分野でグリーン成長戦略の「実行計画」を策定

- エネルギー関連産業
 - ①洋上風力 ②燃料アンモニア ③水素 ④原子力
- 輸送・製造関連産業
 - ⑤自動車・蓄電池 ⑥半導体・情報通信 ⑦船舶 ⑧物流・人流・土木インフラ ⑨食料・農林水 ⑩航空機 ⑪カーボンリサイクル
- 家庭・オフィス関連産業
 - ⑫住宅・建築物/次世代型太陽光 ⑬資源循環関連 ⑭ライフスタイル関連

(経済産業省サイト「カーボンニュートラルに向けた産業政策“グリーン成長戦略”とは？」より抜粋)

半導体関連で働くエンジニア #02



まだ世に出ていない製品を市場に送り出すため、様々な課題に取り組んでいます。

プロダクトバリューグループ
Y.S.
学生時代の専攻分野
総合光科学部 グローバルシステムデザイン学科
所属分野 電気・電子
2017年新卒入社 20代

配属先の業務

実験段階の半導体製造装置の機能性評価、点検、メンテナンス業務を行っています。機能性評価は、半導体製造装置を市場に出すにあたり、性能の評価を行い、評価そのものを開発に生かしていく業務です。

業務のやりがい

最先端の技術が詰まった半導体製造装置を扱う業務は、世界的にもここでしか作っていない物の技術が学べるということにモチベーションが生まれています。また日々新しい知識が学べることにやりがいを感じ、自身でも、業界や業務に必要な様々な知識を、常に学んでいます。

今後の目標

ゆくゆくは、自分から提案できるようなエンジニアになりたいと思っています。また、専門にしている電気・電子分野だけでなく、現在の業務の中で行われている3D CADを使っている部品や工具の製作なども、学んでみたいと考えています。

Webサイト【読むコンテンツ】のご紹介

アルトナーでは、様々なジャンルの企業情報を記事にしてWebサイトで「読むコンテンツ」として発信しています。内容は第一線で働くエンジニアの業務から、エンジニアの働く環境をサポートする諸制度、CSRまで多岐にわたります。今回ご紹介した4名のエンジニアのインタビューも、Webサイトに詳細を掲載しております。ぜひご覧ください。

アルトナーWebサイト TOPページ▶サイドメニュー「アルトナーエンジニア」

「読むコンテンツ」はアルトナーWebサイトTOPページからご覧いただけます。

要約財務諸表

科目	第59期 前事業年度 2021年1月31日	第60期 当第2四半期 会計期間 2021年7月31日
資産の部		
流動資産	3,962	4,395
固定資産	469	458
有形固定資産	106	87
無形固定資産	49	43
投資その他の資産	313	326
資産合計	4,432	4,853 <small>ポイント①-A</small>
負債の部		
流動負債	805	887
固定負債	504	544
負債合計	1,309	1,432 <small>ポイント①-B</small>
純資産の部		
株主資本	3,119	3,417
資本金	238	238
資本剰余金	168	168
利益剰余金	2,713	3,011
自己株式	△0	△0
評価・換算差額等	3	4
その他有価証券評価差額金	3	4
純資産合計	3,123	3,421 <small>ポイント①-C</small>
負債純資産合計	4,432	4,853

POINT

ポイント① 貸借対照表

- ④総資産は、現預金、売上債権の増加により、前事業年度末に比べ421百万円増加。
- ⑥負債は、預り金、退職給付引当金、未払法人税等の増加により、前事業年度末に比べ122百万円増加。
- ⑦純資産は、利益剰余金の増加により、前事業年度末に比べ298百万円増加。

ポイント② 損益計算書

- ④技術者派遣事業にて、技術者数が前年同期を上回り、稼働率が前年同期と同水準で推移したことにより、稼働人員が前年同期を上回る。技術者単価が前年同期を上回り、労働工数が残業時間の回復により前年同期を上回る。これらの結果、売上高は前年同期比8.9%増の3,980百万円。
- ⑥利益面においては、採用活動、営業活動において、スタッフのテレワークを推進したことにより、旅費交通費、会議費等が減少。これらの結果、営業利益は前年同期比19.2%増の566百万円、経常利益は前年同期比20.8%増の580百万円、四半期純利益は前年同期比26.3%増の420百万円。

※本文及び図表中の金額は、百万円未満を切り捨てているため、内訳の計と合計が一致しない場合があります。
また、構成比(%)は、小数点第二位で四捨五入しているため、内訳の比率の合計が100.0%にならない場合があります。

科目	第59期 前第2四半期 累計期間 2020年2月1日から 2020年7月31日まで	第60期 当第2四半期 累計期間 2021年2月1日から 2021年7月31日まで
売上高	3,654	3,980 <small>ポイント②-A</small>
売上原価	2,246	2,478
売上総利益	1,408	1,502
販売費及び一般管理費	932	935
営業利益	475	566 <small>ポイント②-B</small>
営業外収益	5	14
営業外費用	0	0
経常利益	480	580 <small>ポイント②-C</small>
特別利益	-	25
特別損失	0	0
税引前四半期純利益	480	605
法人税、住民税及び事業税	157	198
法人税等調整額	△9	△13
四半期純利益	332	420 <small>ポイント②-D</small>

科目	第59期 前第2四半期 累計期間 2020年2月1日から 2020年7月31日まで	第60期 当第2四半期 累計期間 2021年2月1日から 2021年7月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	370	326
投資活動によるキャッシュ・フロー	△44	36
財務活動によるキャッシュ・フロー	△110	△121
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	216	241
現金及び現金同等物の期首残高	2,383	3,019
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,599	3,261

POINT

ポイント③ キャッシュ・フロー計算書

- ④当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物は、前事業年度末に比べ241百万円増加。
- ⑥営業活動CFは、売上債権の増加、法人税等の支払があったものの、税引前四半期純利益があったことにより、326百万円のプラス。
- ⑦投資活動CFは、有形固定資産の売却による収入により、36百万円のプラス。
- ⑧財務活動CFは、配当金の支払により、121百万円のマイナス。

会社・株式情報 (2021年7月31日現在)

名称	株式会社アルトナー	研修拠点(LC)	東日本/西日本
設立	1962年9月18日(昭和37年9月18日)	事業内容	1)機械 2)電気・電子 3)ソフトウェア 上記分野の基礎研究、設計開発、及び開発技術等の周辺業務
代表者	代表取締役社長 関口 相三	社員数	1,219人
株式	東京証券取引所市場第一部 (証券コード:2163)	許可番号	労働者派遣事業(派27-020513) 有料職業紹介事業(27-ユ-020355)
資本金	2億3,828万4,320円		
本社	東京/大阪		
事業拠点	横浜/大阪/宇都宮/名古屋		

役員一覧

代表取締役社長	関口 相三
取締役 役	張替 朋則
取締役 役	奥坂 一也
取締役 役	佐藤 宗
取締役 役	江上 洋二
取締役(常勤監査等委員)	寺村 泰彦
取締役(監査等委員)	三谷 高昭
取締役(監査等委員)	森井 眞一郎

株式の状況

発行可能株式総数	36,000,000 株
発行済株式の総数	10,627,920 株
株主数	3,799人

大株主の状況

氏名または名称	所有株式数(株)	割合(%)※
株式会社関口興業社	4,310,000	40.56
アルトナー従業員持株会	975,148	9.17
大阪中小企業投資育成株式会社	480,000	4.51
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	303,900	2.86
張替 朋則	270,240	2.54
奥坂 一也	254,880	2.39
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	126,900	1.19
江上 洋二	101,552	0.95
アルトナー役員持株会	87,100	0.81
THE BANK OF NEWYORK MELLON 140040 (常任代理人 株式会社みずほ銀行決済営業部)	83,959	0.79
合計	6,993,679	65.81

※発行済株式(自己株式を除く。)の総数に対する所有株式数の割合

株式の分布状況

